

日高義博学長を再任 — 21世紀ビジョン「社会知性の開発」指針に

専修大学の次期学長に日高義博現学長が選任され、7月5日付で告示・発表された。9月1日付で就任し任期は3年間。昨年11月に就任した学校法人専修大学理事長職を引き続き兼務する。



日高学長の任期満了に伴う次期学長候補者の選出は、専修大学学長選任に関する規定に基づき、神田・生田両キャンパスで6月26日に第1回投票が行われた(投票・開票結果は後記のとおり)。この結果、日高学長が、有効投票の過半数を得たので、投票管理委員会(八林秀一投票管理委員会委員長)は、学長選任に関する規程第3条第1項第1号及び同項第3号に基づき、同日付で最終学長候補者として、学校法人専修大学理事会に報告した。

これを受けて学校法人専修大学では、7月4日、評議員会の議を経て理事会を開き、日高学長を次期学長に選任した。

2期目を迎えるにあたり日高学長は、「21世紀ビジョンである『社会知性の開発』を指針とし、時代の要請に応える人間性豊かな人材を育成し、社会に送り出す」と、目指す大学教育について語っている。

専修大学法学部卒業、明治学院大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。1975年専修大学専任講師、77年助教授、84年教授。2001年学校法人専修大学理事、法学部長。04年法科大学院教授。法学博士。59歳。

※プロフィール、抱負は9月号に掲載します。

【投票・開票結果】

投票総数 409票
有効投票 367票
無効投票 42票
得票数
日高義博 367票

07年度校友会定時総会 京都で開催

「07年度校友会定時総会」が7月7日、京都市左京区の「グランドプリンスホテル 京都」で約330人の校友と家族らが参集して開催された。(定時総会 / 全国支部長会)



あいさつする甘竹秀雄会長



▲校友で満員の会場(壇上は日高理事・学長)



▲仲間同士で記念撮影。懇談会の会場は和気あいあい

07専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会

8月3日開幕

創立130年記念事業の一環として昨年から始まった「2007専修大学カップ 神奈川県学童軟式野球選手権大会」【主催：神奈川県野球連盟・専修大学、後援：神奈川県教育委員会、tvk(テレビ神奈川)、神奈川新聞社】が今年も開催される。

県内各地区の予選を勝ち抜いた54チームが、栄冠をかけて保土ヶ谷少年野球場ほかで熱戦を繰り広げる。開会式は横浜スタジアムで8月3日(金)9時から、準決勝・決勝・閉会式は同8日(水)に行われる。



20番目の協定校は台湾・中山大学

専修大学は、台湾の名門、中山大学(張宗仁学長)と国際交流協定を結んだ。今後、学生の長期交換留学、教員の共同研究の促進などによる交流が行われる。台湾の大学とは初の締結。本学の協定校は14カ国・地域20校となった。

第2の都市 高雄にキャンパス プライベートビーチも

台湾第2の都市・高雄にキャンパスを持つ中山大学は、1980年に創立の国立総合大学。学部および大学院は、文、理、工、管理(経営)、海洋科学、社会科学の6学院で構成され、台湾の重点7研究型大学のひとつに選定されている。2006年度は、学生数1万315人。そのうち6052人は大学院生が占める。

昨年10月、日高義博学長と出牛正芳前理事長らが校友会台湾支部総会出席のために訪台し、中山大学を視察。その際、張学長から国際交流協定への打診があった。また、台湾の大学強化策の後押しもあって協定への検討が重ねられてきた。

4月、大林守国際交流センター長らが中山大学を訪問、具体的な交流計画について話し合いが行われた。6月19日付で締結された協定内容は▽研究者交流▽共同研究・講演会・シンポジウムの実施▽データ・文献・研究資料の交換▽交換留学——となっている。

中山大学は国際化に特に力を入れており、28カ国約100校と協定を結んでいる。留学生専用寮が完備されるなど勉学環境は申し分ない。キャンパスは高雄市郊外の西子湾に臨む高台に位置し、プライベートビーチもある。

大学名の中山は台湾の「国父」とされる孫文の号。

大林守国際交流センター長の話

台湾の高等教育のレベルは非常に高く、中山大学は英語で授業が行われるMBAコースもある。同大学の国際交流の8割は経営学部(管理学院)が行っており、本学のとりわけ経済、経営、商の各学部との関係を構築していきたい。

また音楽、伝統芸術などにも力を入れおり、多彩な交流が期待できる。まずは学術研究交流を進め、交換学生の交流も推進していきたい。



▲台湾南部の西子湾に臨む見事なロケーション



▲中山大学のキャンパス。正面は図書館



▲中山大学・張宗仁学長(左)と大林守国際交流センター長=4月、中山大学で

